

問題

問 1

正解

完璧

直前
CHECK

システム監査における、サンプリング（試査）に関わる用語の説明のうち、適切なものはどれか。

- ア 許容誤謬率^{びやう}とは、サンプルの件数を決めるときに用いるものであって、監査人が受け入れることのできる所定の内部統制からの逸脱率である。
- イ サンプリングリスクとは、固有リスクと統制リスクを掛け合わせた結果である。
- ウ 統計的サンプリングとは、特定の種類の例外取引を全部抽出する方法である。
- エ 母集団とは、評価対象から結論を導き出すのに必要なデータ全体のうち、リスクの高いデータの集合である。

問 2

正解

完璧

直前
CHECK

システム監査における監査証拠の説明のうち、適切なものはどれか。

- ア 監査人が収集又は作成する資料であり、監査報告書に記載する監査意見や指摘事項は、その資料によって裏付けられていなければならない。
- イ 監査人が当初設定した監査手続を記載した資料であり、監査人はその資料に基づいて監査を実施しなければならない。
- ウ 機密性の高い情報が含まれている資料であり、監査人は監査報告書の作成後、速やかに全てを処分しなければならない。
- エ 被監査部門が監査人に提出する資料であり、監査人が自ら作成する資料は含まれない。

**問 1****ア**

許容誤謬率^{256.3}：サンプリングする際に誤ったサンプルを受け入れることが可能な割合である。誤謬率の範囲であれば許容されることになる。

サンプリングリスク：サンプル抽出時に起因するリスク。抽出したサンプルが評価結果に誤った結果をもたらすリスクである。

統計的サンプリング：サンプルの抽出に無作為抽出法を用い、監査結果に基づく母集団に関する結論を確率論から導き出す方法である。

母集団：評価対象から結論を導き出すために必要なデータ全体を指す。

**問 2****ア**

監査証拠は、監査業務の全過程において監査人が収集及び作成した資料である。監査意見や指摘事項の確証となるもので、ヒアリングの結果やシステムの検証結果等が該当する。

イ：監査計画の説明である。

ウ：機密性の高い情報は含まれているが、報告書とあわせて証拠も提出する必要がある。

エ：監査人が被監査人に提出する資料であり、意味が逆である。

問題

問 3

正解

完璧



直前
CHECK

ソフトウェアパッケージ購入に関する監査において監査人自身が行う手続として、最も適切なものはどれか。

- ア 自社開発と購入の場合の投資対効果をそれぞれ分析、比較して、ソフトウェアパッケージを選定する。
- イ ソフトウェアパッケージに適合するハードウェア性能の検討が行われていることを確認する。
- ウ ソフトウェアパッケージを提供する企業の財務内容が健全かどうかを調査する。
- エ 他の同種のソフトウェアパッケージに関する資料を取り寄せて、価格、性能などを比較する。

問 4

正解

完璧



直前
CHECK

“JIS Q 27001:2006”の管理策を参考にして設定した、ノート型PCに対する物理的セキュリティ対策の妥当性を確かめるための監査手続はどれか。

- ア オフィス内を視察し、不在者のノート型PCが施錠されたキャビネットに保管されていることを確認する。
- イ 管理ルールを調べ、ノート型PCを社外に持ち出す場合には、セキュリティ管理者の許可を得るルールになっていることを確認する。
- ウ 教育計画及び教育記録を閲覧し、ノート型PCの安全管理についての社員教育が適切に行われていることを確認する。
- エ 実際にノート型PCを操作して、パスワードを入力しないと利用可能にならない仕組みになっていることを確認する。

問 5

正解

完璧



直前
CHECK

システム監査報告書に記載された改善勧告に対する監査人の取組みのうち、適切なものはどれか。

- ア 改善勧告に対する改善実施状況を確認する。
- イ 改善勧告に対する改善の実施を、被監査部門の長に指示する。
- ウ 改善勧告に対する被監査部門の改善実施プロジェクトの管理を行う。
- エ 改善勧告の内容を被監査部門に示し、改善実施計画を提出させる。



問3

イ

- ア：自社開発と購入の費用対効果分析および比較，ソフトウェアパッケージの選定は被監査部門が行う。
- イ：ソフトウェアパッケージに適合するハードウェア性能検討実施状況確認は，システム監査人が行う。
- ウ：ソフトウェアパッケージ提供企業の財務内容調査は，被監査部門が行う。
- エ：他のソフトウェアパッケージ資料の収集，価格・性能比較等は，被監査部門が行う。



問4

ア

JIS Q 27001:2006は，ISMSの国際規格である，ISO/IEC 27001:2005の国内規格である。ISO/IEC 27001をベースとして，その内容や構成をそのまま日本語化し，日本工業規格としたものである。

完全性とは，情報及び処理方法が正確であり，完全であることを保証することである。物理的セキュリティは，不正侵入や損害，盗難等を考慮したセキュリティ対策である。

- ア：正しい。ノート型PCは，盗難されるリスクを考慮して，施錠されたキャビネットやセキュリティワイヤによる固定対策が有効である。
- イ：監査の視点では，ルールになっていることを確認するだけでなく，ルールが守られていることの確証を確認する必要がある。
- ウ：教育の観点での監査であれば正しいが，物理的セキュリティの監査としては誤りである。
- エ：パスワードの入力による利用の仕組みは，盗難に対して意味を持たない。物理的セキュリティの観点では誤りである。



問5

ア

監査人は，改善勧告を行った後，その改善が行われているか**改善指導**（フォローアップ）を実行して改善の実施状況を確認する必要がある。

- イ，エ：改善の実施指示は，被監査部門の長ではなく経営者もしくは組織体の長に行う。実際の改善指示は，組織体の長が被監査部門に対して行うのが一般的である。
- ウ：改善実施プロジェクトは被監査部門が行う。監査人は実際の改善は行わない。

問題

問 6

正解

完璧



直前
CHECK

“システム管理基準”で定めている、運用業務におけるソフトウェア管理に該当するものはどれか。

- ア プログラムからの出力情報の利用状況を記録し、定期的に分析する。
- イ プログラムで用いるデータファイルへのアクセスをコントロールする。
- ウ プログラムの違法コピーが発生しないよう教育する。
- エ プログラムのテスト結果を記録、保管する。

問 7

正解

完璧



直前
CHECK

提案依頼書（RFP）によるベンダ選定手続に関するシステム監査の結果、指摘事項に該当するものはどれか。

- ア RFPに、システム化要求事項の他、あるべき業務モデルも添付していた。
- イ RFP発行後、問合せをしてきたITベンダに対して追加資料を提供していた。
- ウ 提案を希望するITベンダを集めて、RFP説明会を実施していた。
- エ 予算額の範囲を、RFPに明示していた。

問 8

正解

完璧



直前
CHECK

システム監査の予備調査の段階で行う作業はどれか。

- ア 監査計画書の作成
- イ 監査証拠の評価
- ウ 監査対象の実態把握
- エ 監査目的の設定

**問6****ウ**

システム管理基準では、次のことが定められている。

Ⅲ (開発業務)

4 (プログラミング)：プログラムテスト結果の評価・記録・保管

Ⅳ (運用業務)

4 (データ管理)：データファイルへのアクセスコントロール

Ⅳ (運用業務)

5 (出力管理)：出力情報の利用状況記録・定期的分析

6 (ソフトウェア管理)：プログラムの違法コピー防止教育

**問7****イ**

提案依頼書 (RFP) は、情報システムの業務委託を行う際に委託先の企業に具体的な提案を依頼する文書である。RFPには、システムの概要や構成、発注条件や期間といった内容を記載する。

RFPを提示する際、複数の企業に提案を求める場合もあるため、公平な条件で提案を受ける必要がある。

ア、ウ、エ：RFPに記載する内容として問題ない。

イ：問合せをしてきたITベンダのみに追加資料を渡すのは指摘事項となる。追加資料があるのであれば、RFPを提示した企業すべてに渡す必要がある。

**問8****ウ**

予備調査は、個別監査業務計画の一つである。**個別監査計画**は、予備調査、本調査、評価・結論、報告の流れで行われる。

予備調査は、監査対象情報システムのリスクが識別されているか、リスクアセスメントに基づいたコントロールが整備されているか等、監査対象の実態を把握するために行う。監査手続き書を完成させるために、質問書・アンケート調査、インタビュー、資料収集・閲覧等を行っていく。

ア：**監査計画書**には、基本計画(年度実施等)の計画と個別監査業務の2つの計画がある。

イ：**監査証拠の評価**は、監査手続きを実施した際に証拠が有効であるかどうかを判断するため、予備調査段階で入手することはない。

ウ：**予備調査**は、監査対象の実態を把握するために行う。

エ：**監査目的設定**は、予備調査以前の個別計画策定段階で行われる。

問題

問 9

正解

完璧



直前
CHECK

内部統制として効果的な職務の分離の説明はどれか。

- ア 開発部門のプログラマが運用部門のオペレータを兼務しない。
- イ 購買管理で購入物品の検品確認と検品確認入力を同じ担当者が行わない。
- ウ 資材管理で資材の搬入確認と搬入確認入力を兼務しない。
- エ 電子送金システムでシステムの始動と送金操作を同じ担当者が行わない。

問 10

正解

完璧



直前
CHECK

金融庁の“財務報告に係る内部統制の評価及び監査の基準”では、内部統制の基本的要素の一つとして“ITへの対応”を示している。“ITへの対応”に関する記述のうち、適切なものはどれか。

- ア COSOの“内部統制の統合的枠組み”にも、構成要素の一つとして示されている。
- イ IT環境への対応と、ITの利用及び統制からなる。
- ウ ITを利用しない手作業での統制活動では内部統制の目的は達成できない。
- エ 他の内部統制の基本的要素と独立に存在する。

問 11

正解

完璧



直前
CHECK

内部統制の基本的要素の一つである“統制活動”に該当するものはどれか。

- ア 経営目的を達成するための経営方針及び経営戦略
- イ 個人情報保護に関する脅威と脆弱性の分析
- ウ 受注から出荷に至る業務プロセスに組み込まれた処理結果の検証
- エ 定期的に計画して実施する内部業務監査



問9

ア

内部統制における職務の分離とは、兼務することによって統制が機能しなくなる職務を分離することである。たとえば、開発業務と運用業務を兼務すると不正なプログラムを導入するタイミングが生じ、統制が機能しなくなる可能性がある。

イ、ウ：物品や資材を確認する担当者と、それらを入力する担当者が同一では、職務分離とは言えない。

エ：システムの始動と送金操作は、内部統制とは直接関連しない。



問10

イ

内部統制の基本要素の一つとしての“ITへの対応”では、IT環境に対応した内部統制、ITの利用及び統制がある。内部統制のフレームワークであるCOSO (the Committee Of Sponsoring Organization of the treadway commission) は、不正な財務報告による問題を防ぐための内部統制についての枠組みを与えるもので、特に“ITへの対応”を構成要素としたものではない。また、ITを利用しない手作業での統制活動でも内部統制を行うことができる。

“ITへの対応”は、他の内部統制の基本要素とともに強調して用いられる。



問11

ウ

統制活動とは、経営者の命令及び指示が適切に実行されることを確保するために定める方針及び手続をいう。統制活動には、権限及び職責の付与、職務の分掌等の広範な方針及び手続が含まれる。このような方針及び手続は、業務のプロセスに組み込まれるべきものであり、組織内のすべての者において遂行されることにより機能するものである。

問題

問 12

正解

完璧

直前
CHECK

ITサービスマネジメントにおけるインシデント管理プロセスの効率性又は有効性を判断するための指標として、適切なものはどれか。

- ア うまくいわずに切戻しをした変更の個数
- イ 根本原因の診断や必要な変更が完了していない問題の個数
- ウ サービス停止の発生頻度
- エ サービスデスクがエスカレーションせずにクローズしたインシデントの割合

問 13

正解

完璧

直前
CHECK

ITILv3におけるサービスライフサイクルの段階のうち、キャパシティ管理を含むものはどれか。

- ア サービスオペレーション
- イ サービスストラテジ
- ウ サービスデザイン
- エ サービストランジション

問 14

正解

完璧

直前
CHECK

電子署名法に規定されているものはどれか。

- ア 電子署名技術は公開鍵暗号技術によるものと規定されている。
- イ 電子署名には、電磁的記録以外の、コンピュータ処理の対象とならないものも含まれる。
- ウ 電子署名には、民事訴訟法における押印と同様の効力が認められている。
- エ 電子署名の認証業務を行うことができるのは、政府が運営する認証局に限られる。



問 12

工

インシデント管理プロセスの有効性の一つとして、一次回答率を判断基準とする場合がある。インシデント管理では、できる限り早くインシデントを解決することが望ましい。そのため、他部門へのエスカレーションをせずに、サービスデスク内で解決してクローズした割合が高いほど有効であるといえる。

ア：切戻しは変更管理プロセスで扱われる。

イ：根本原因は問題管理プロセスで扱われる。

ウ：サービス停止の発生頻度はインシデント管理事態であり、有効性とはならない。



問 13

ウ

ITIL v3 (Information Technology Infrastructure Library Version 3) は、「サービスストラテジ」、「サービスデザイン」、「サービスオペレーション」、「サービストランジション」、「継続的サービス改善」の五つの分野の書籍が発行されている。キャパシティ管理は、サービスデザインに含まれるプロセスである。

ITILv3における管理プロセスと機能は、ITILv2と比較して2倍以上に増加している。

サービスストラテジ：財務管理，需要管理，サービスポートフォリオ管理

サービスデザイン：サービスカタログ管理，サービスレベル管理，キャパシティ管理，可用性管理，ITサービス継続性管理，情報セキュリティ管理，サプライヤ管理

サービストランジション：移行の計画立案およびサポート，変更管理，サービス資産管理および構成管理，リリース管理および展開管理，サービスの妥当性確認およびテスト，評価，ナレッジ管理

サービスオペレーション：イベント管理，インシデント管理，要求実現，問題管理，アクセス管理，サービスデスク，技術管理，アプリケーション管理，IT運用管理

継続的サービス改善：7ステップの改善，サービス報告，サービス測定



問 14

ウ

電子署名法は、「電子署名に関し、電磁的記録の真正な成立の推定、特定認証業務に関する認定の制度その他必要な事項を定めることにより、電子署名の円滑な利用の確保による情報の電磁的方式による流通及び情報処理の促進を図る」法律である。

ア：公開かぎ暗号技術とは規定されていない。

イ：電磁的記録に記録できる情報に限定されている（第2条）。

エ：認証業務は主務大臣への届出を行い、認定されたものが行う（第4条）。

問題

問 15

正解

完璧



直前
CHECK

JIS Q 9001 (ISO 9001) で内部監査について規定していることはどれか。

- ア 内部監査では、品質マネジメントシステムが定められたとおり正しく機能しているかどうかを、予告することなく不定期に確認する。
- イ 内部監査では、品質マネジメントシステムの効果的な実施と維持及び規格要求事項への適合を確認する。
- ウ 内部監査は、社内のシステム監査部門又はシステム監査技術者が行う。
- エ 内部監査を実施する前提条件として、ISO 9001に基づく品質マネジメントシステムの審査登録が必要である。

問 16

正解

完璧

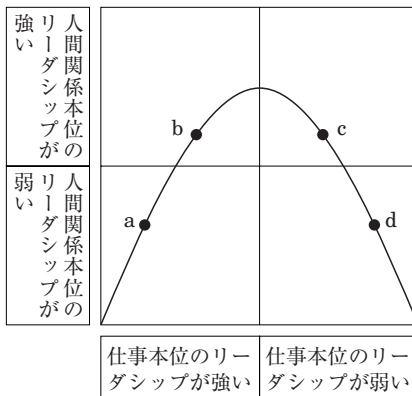


直前
CHECK

リーダーシップのスタイルは、その組織の状況に合わせる必要がある。組織とリーダーシップの関係に次のことが想定できるとすると、野球チームの監督のリーダーシップのスタイルとして、図のdと考えられるものはどれか。

[組織とリーダーシップの関係]

組織は発足当時、構成員や仕組みの成熟度が低いので、リーダーが仕事本位のリーダーシップで引っ張っていく。成熟度が上がるにつれ、リーダーと構成員の人間関係が育われ、仕事本位から人間関係本位のリーダーシップに移行していく。更に成熟が進むと、構成員は自主的に行動でき、リーダーシップは仕事本位、人間関係本位のいずれもが弱まっていく。



- ア うるさく言うのも半分くらいで勝てるようになってきた。
- イ 勝つためには選手と十分に話し合って戦略を作ることだ。
- ウ 勝つためには選手の足を引っ張らないことだ。
- エ 選手をきちんと管理することが勝つための条件だ。

**問 15****イ**

JIS Q 9001 の内部監査では、要求事項への適合性の検証、有効性の評価、効果的に実施され維持されているかを品質マネジメントシステムが規定している。

ア：予告無く不定期に確認することは規定されていない。一般的には、スケジュールを組んで予定した日程で監査を行う。

ウ：内部監査は、自社内で行われる監査で誰が実施するかを規定するものではない。自社の社員でなく、代理人でも可能である。

エ：内部監査はあくまでも自社内の監査であるため、審査登録は不要である。

**問 16****ウ**

ア：仕事本位のリーダーシップから人間関係本位へと移行中。bの状態

イ：人間関係本位のリーダーシップとなっている。cの状態

ウ：選手が自主的に行動していることを示そうとしている。dの状態

エ：仕事本位のリーダーシップである。aの状態

問題

問 17

正解

完璧



直前
CHECK

“商品”表に対して、次のSQL文を実行して得られる仕入先数は幾つか。

```
SELECT DISTINCT 仕入先コード FROM 商品
WHERE (販売単価 - 仕入単価) >
      (SELECT AVG (販売単価 - 仕入単価) FROM 商品)
```

商品

商品コード	商品名	販売単価	仕入先コード	仕入単価
A001	A	1,000	S1	800
B002	B	2,500	S2	2,300
C003	C	1,500	S2	1,400
D004	D	2,500	S1	1,600
E005	E	2,000	S1	1,600
F006	F	3,000	S3	2,800
G007	G	2,500	S3	2,200
H008	H	2,500	S4	2,000
I009	I	2,500	S5	2,000
J010	J	1,300	S6	1,000

ア 1

イ 2

ウ 3

エ 4



SELECT DISTINCT は、重複する行を取り除くための文である。

はじめに、「**SELECT AVG (販売単価 - 仕入単価) FROM 商品**」から、損益の平均値 (AVG) を計算する。全体の平均は360円となる。

次に、「**WHERE (販売単価 - 仕入単価) >**」から、販売単価から仕入単価を引いた値が平均値の360円よりも大きいものを選択する。選択された商品は「D004, E005, H008, I009」となる。

最後に、「**SELECT DISTINCT 仕入先コード FROM 商品**」から、D004, E005, H008, I009の「仕入先コード」を選択し、重複を取り除く。すると、S1, S4, S5が選択される。

商品コード	商品名	販売単価	仕入先コード	仕入単価	販売単価 - 仕入単価	(販売単価 - 仕入単価) - 平均値
A001	A	1,000	S1	800	200	-160
B002	B	2,500	S2	2,300	200	-160
C003	C	1,500	S2	1,400	100	-260
D004	D	2,500	S1	1,600	900	540
E005	E	2,000	S1	1,600	400	40
F006	F	3,000	S3	2,800	200	-160
G007	G	2,500	S3	2,200	300	-60
H008	H	2,500	S4	2,000	500	140
I009	I	2,500	S5	2,000	500	140
J010	J	1,300	S6	1,000	500	-60

問題

問 18

正解

完璧

直前
CHECK

IEEE 802.1QのタグVLANの特徴に関する記述として、適切なものはどれか。

- ア MACアドレスを用いたグルーピングを行う。
- イ VLAN識別子（VID）の最大は1,024である。
- ウ イーサネットフレームのタイプフィールドにVLAN識別子（VID）を指定する。
- エ 複数のスイッチングハブにまたがる仮想LANを構築できる。

問 19

正解

完璧

直前
CHECK

一つのグローバルIPアドレスを使って複数のホストが同時にインターネットにアクセスできるようにする仕組みを何と呼ぶか。

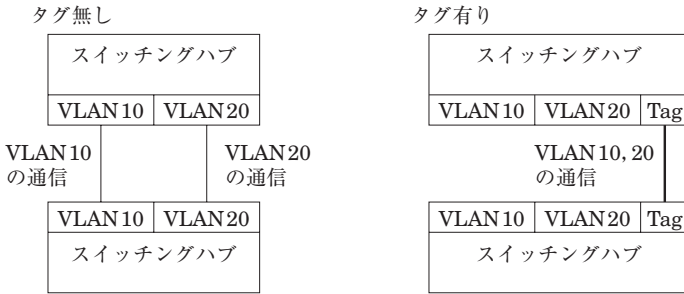
- ア DHCP
- イ IPマルチキャスト
- ウ NAT
- エ VPN

**問 18****工**

IEEE 802.1Qは、一つのポートから複数VLANを通すためのプロトコルである。

図のように、スイッチングハブに二つのVLAN（10,20）がある場合は、通常、VLAN10とVLAN20の両方からLANケーブルを接続する必要がある。

タグVLANを利用すると、一つのポートに複数のVLANを割り当てることができるため、LANケーブルの本数やスイッチングハブのポート数を効率化することができる。

**問 19****ウ**

DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol)：IPアドレスなど各種設定の自動割り当てを行うプロトコルである。他に設定できる項目として、デフォルトゲートウェイ、サブネットマスク、DNSサーバなどがある。一般的にダイヤルアップ、ADSL、ISDNなどプロバイダと接続する際に利用される。

IP マルチキャスト：1対多の通信を行う際に利用する通信手段である。IPv4ではアドレスクラスはD（224.0.0.0～239.255.255.255）を利用する。

NAPT (Network Address Port Translation)：IPマスカレードとも呼ばれ、グローバルIPアドレスからプライベートIPアドレスに変換するための機能である。アドレス変換時にポート番号も用いる。

VPN (Virtual Private Network)：認証技術や暗号化を用いて保護することにより、インターネットを仮想的な専用回線として利用するサービスである。

問題

問 20

正解

完璧



直前
CHECK

IPv6において、拡張ヘッダを利用することによって実現できるセキュリティ機能はどれか。

- | | |
|----------------|-------------|
| ア URLフィルタリング機能 | イ 暗号化機能 |
| ウ ウイルス検疫機能 | エ 情報漏えい検知機能 |

問 21

正解

完璧



直前
CHECK

“システム管理基準”に該当する記述はどれか。

- ア ITILというITサービスの品質向上のためのガイドラインを基に作成した、ITサービスマネジメントに関するフレームワークである。
- イ 一般基準、実施基準及び報告基準から構成されており、一般基準ではシステム監査人の独立性や職業倫理について規定されている。
- ウ システム監査業務の品質を確保し、有効かつ効率的に監査を実施することを目的とした監査人の行為規範である。
- エ 情報システム戦略に基づき、効果的な情報システム投資のための、また、リスクを低減するためのコントロールを適切に整備・運用するための実践規範である。

問 22

正解

完璧



直前
CHECK

UML 2.0において、オブジェクト間の相互作用を時間の経過に注目して記述するものはどれか。

- | | |
|------------|--------------|
| ア アクティビティ図 | イ コミュニケーション図 |
| ウ シーケンス図 | エ ユースケース図 |

**問 20****イ**

IPv4 から IPv6 への主な変更点は、32ビットから128ビットへのアドレス空間の飛躍的な拡大、ヘッダフォーマットの簡素化、経路処理などの高速化、機能の拡張性と柔軟性である。IPv4アドレスの割り当ては2011年に終了したので、新規に取得することはできなくなっている。

IPv6の拡張ヘッダにおける機能は6種類が用意されており、その中で暗号化を利用することができる。

▼
解答**問 21****工**

システム管理基準は、経済産業省が公表するシステム管理に関する実践規範である。ア：ITIL (IT Infrastructure Library) に関する説明。ITILは、システム管理・運用規則に関するガイドラインである。ITサービスは、従来の運用管理、保守管理のことで、そのサービスマネジメントはサービスサポートとサービスデリバリの二つに分類されている。

イ、ウ：システム監査基準に関する説明である。

エ：システム管理基準の説明である。

**問 22****ウ**

アクティビティ図：フローチャートが基になっており、一つ一つのアクティビティの流れがわかるような形になっている。

コミュニケーション図：オブジェクト間の関係を表す。

シーケンス図：システムの動的な振る舞いや状態遷移について表す。

ユースケース図：システムの利用法を表現するのに用いられる。

問題

問 23

正解

完璧



直前
CHECK

開発ライフサイクルモデルとして、ウォータフォールモデル、進化的モデル、スパイラルモデルの三つを考える。ソフトウェア保守は、どのモデルを採用したときに必要か。

- ア ウォータフォールモデルだけ
- イ ウォータフォールモデルと進化的モデルだけ
- ウ ウォータフォールモデルとスパイラルモデルだけ
- エ ウォータフォールモデル、進化的モデル、スパイラルモデルの全て

問 24

正解

完璧



直前
CHECK

ブランド戦略のうち、ブランド拡張を説明したものはどれか。

- ア 既存のブランドネームをそのまま用いた上で、対象市場を新しいマーケットセグメントに変更し、売上高の増加を狙う戦略である。
- イ 既存のブランドネームを他の商品においても展開することで、既存ブランドの認知度を新商品にも利用し、販売効果を高める戦略である。
- ウ 従来の市場をターゲットとし続けるが、従来のブランドネームを廃棄して新しいブランドネームに変更する戦略である。
- エ 単一のブランドを強調するだけでなく、同一カテゴリで複数ブランドを使い分けることによって市場シェアの獲得を狙う戦略である。

問 25

正解

完璧



直前
CHECK

企業が実施するマクロ環境分析のうち、PEST分析によって戦略を策定している事例はどれか。

- ア 購買決定者の年齢層や社会的なポジション、購買に至るプロセスの中で購買行動に影響する要因を把握し、自社の製品の市場投入方法を決定する。
- イ 自社の製品市場に参入してくると見込まれる、別市場の企業の動向を把握し、新製品の開発を決定する。
- ウ 自社の販売力、生産力の評価や自社の保有する技術力を検証し、新しく進出する市場分野を決定する。
- エ 法規制、景気動向、流行の推移や新技術の状況を把握し、自社の製品改善方針を決定する。

**問23****工**

ソフトウェア保守は、**JIS X 0161**（ソフトウェアライフサイクルプロセス－保守）で詳細が規定されている。ソフトウェアのバグ修正や改良，最適化を行う上で必要となり，設問中のどの開発ライフサイクルモデルを採用しても必要となる。

**問24****イ**

ブランドの拡張はブランドエクステンションとも呼ばれ，ブランドの持つ強い認知度やイメージを武器として，関連する商品・サービスの分野やその周辺分野に進出することを意味する。例えば紳士服のブランドメーカーが，カバンや紳士洋品小物などと同じブランドで進出するような場合が当てはまる。

**問25****工**

マクロ環境分析は，自らによるコントロールが困難な外部環境要因に関する分析を指す。

PEST分析は，**Political**（政治），**Economy**（経済），**Society**（社会的），**Technology**（技術）の頭文字をとった用語である。会社へのプラスやマイナスの要素を考え，四つの視点で外部環境から影響度を評価することである。

Political（政治的）：政治や法律面からの影響度を分析する。例えば，法律が変われば会社はそれに従う必要があるといったことである。

Economy（経済的）：株価や為替変動，金利など，経済からの影響度を分析する。

Society（社会）：人口や教育，宗教など，社会面からの影響度を分析する。

Technological（技術）：新技術の発明や特許，研究開発など，技術面から影響度を分析する。